

4 舟艇利用の現況

兵庫県内における舟艇の利用環境の整備は、大阪湾海域及び瀬戸内海・東海域を中心に進められている。

(1) 「海の駅」を利用したマリンレジャーの普及推進

海の駅は、マリンレジャーの普及、及び地域・観光振興の観点から、「いつでも、誰でも、気軽に、安心して立ち寄り、利用でき、憩える（船を着けられる・陸に上られる・船に乗れる）港（場）」として全国各地に展開され、平成26年度末現在、147駅が登録されている。

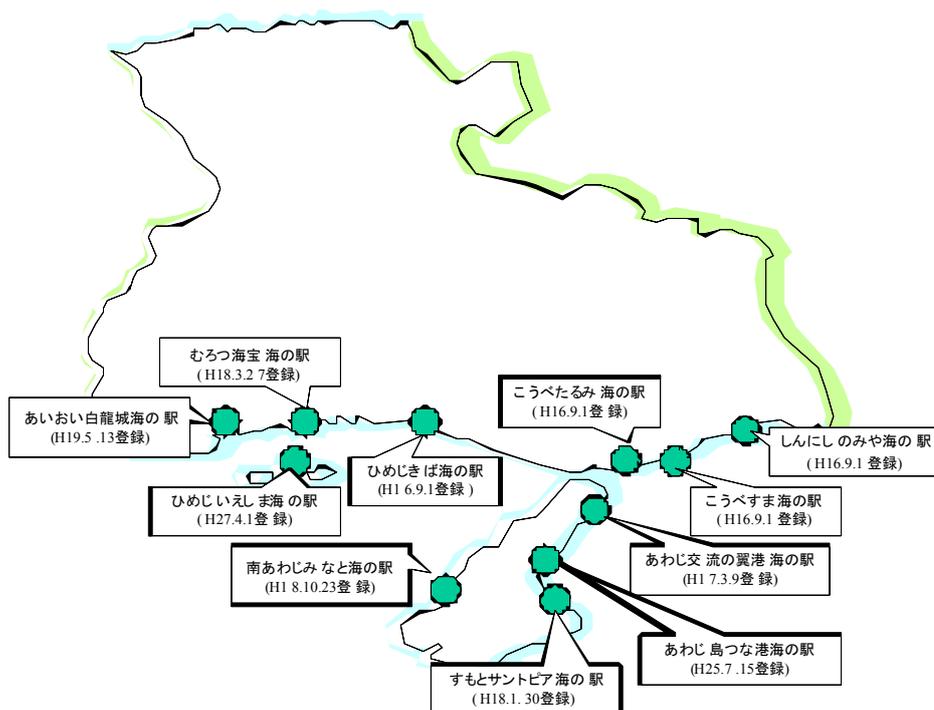
神戸運輸監理部は、海の駅の認定を行う海の駅ネットワークや近隣の運輸局と連携しながら、海洋レクリエーションに関する情報発信、普及啓発、海洋に関する文化の普及・振興及び防災意識の向上の取り組みを進めている。また、ブログレポーターの活用による海の駅情報の発信、フェイスブック活用の検討など海の駅の周知活動を行っている。

管内においては、平成27年4月1日に「ひめじいえしま海の駅」が新たに登録され、平成27年7月末現在、11駅が「海の駅」となっている。（管内「海の駅」の所在については、第16図のとおり。）

また、神戸運輸監理部の平成26年度におけるマリンレジャー普及推進に向けた主な取り組みは以下のとおりである。

- (ア) 神戸港ポート天国における出展（平成26年7月21日）
- (イ) 海の駅ネットワーク通常総会への出席（平成27年6月3日）
- (ウ) 海の駅ネットワーク関西連絡会総会への出席（平成27年3月20日）

第16図 兵庫県内の「海の駅」登録状況（平成27年7月末現在）



(2) FRP船リサイクルシステムの推進

FRP廃船の広域的なリサイクル処理を運営するリサイクルセンター（一般社団法人日本マリン事業協会）が管理運用するFRP船リサイクルシステムは、FRP廃船をセメント原燃料として再資源化を図るなど、循環型社会の形成を促進するとともに、沈没船対策としても期待されている。

神戸運輸監理部は、同協会と協働して廃船処理の適正化を図る「関西地区廃船処理協議会」において、自治体等関係者間の情報共有や、FRP船リサイクルシステムの広報活動を行い、システムの利用促進に努めている。

また、同協議会の構成員以外の自治体担当者と情報交換を行い、一般利用者に対するFRP船リサイクルシステムの広報活動に対して協力を依頼している。

第17図 平成26年度全国地域別廃船受付隻数（資料出所：一般社団法人日本マリン事業協会調べ）

